



# 令和5年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年2月10日

上場会社名 株式会社 ハーバー研究所  
コード番号 4925 URL <https://www.haba.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 一成  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・経理部担当 (氏名) 梅蔭 武  
四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-5296-6250

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和5年3月期第3四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第3四半期	8,735	8.6	767		742		810	
4年3月期第3四半期	9,558		505		480		529	

(注) 包括利益 5年3月期第3四半期 807百万円 ( %) 4年3月期第3四半期 527百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第3四半期	214.40	
4年3月期第3四半期	139.98	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
5年3月期第3四半期	15,004		10,678		71.2	
4年3月期	15,685		11,637		74.2	

(参考) 自己資本 5年3月期第3四半期 10,678百万円 4年3月期 11,637百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期		0.00		40.00	40.00
5年3月期		0.00			
5年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,010	7.0	680		650		750		198.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日(令和5年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期3Q	3,935,000 株	4年3月期	3,935,000 株
期末自己株式数	5年3月期3Q	153,481 株	4年3月期	153,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期3Q	3,781,519 株	4年3月期3Q	3,781,547 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、経済活動が段階的に正常化へ向かい、景気回復の兆しが見られたものの、令和4年11月から再び新型コロナウイルス感染症（第8波）が拡大しました。また、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源、エネルギーの価格上昇及び円安の進行による物価高騰等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

国内化粧品市場においては、食料品、日用品をはじめとした生活必需品等の値上げにより、これらへの支出が優先され、化粧品への消費回復は鈍化しております。このような環境の中、当社グループの直営店、その他卸売（国内）においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、前年同四半期比で増加となりました。一方で百貨店向卸売においては、令和4年11月より開始した当社ポイントサービス統一化による契約内容変更に基づく商品在庫調整に伴い、前年同四半期比で減少となりました。また、通信販売においては、当第3四半期の販売促進施策において、ポイント付与が前年同四半期比で増加した事により減少となりました。

海外市場においては、主要マーケットである中国にてゼロコロナ政策による厳格な移動制限等が解除され、現地での販売活動の回復が期待されたものの、その後の急激な感染症拡大等により、厳しい環境が続いております。当社グループのその他卸売（海外）においても回復に遅れが生じており、その結果、その他卸売は前年同四半期比で減少となりました。

当社グループにおいては、当事業年度よりスタートした中期経営計画に基づき、ブランド認知向上に向けて令和4年10月～11月にかけて高品位「スクワラン」の新TVCMを全国で順次放映、オンラインにおいてもWEB動画をSNSで展開しました。また、栄養補助食品においては、オリゴワン®飲料リニューアル発売1周年を機に、ハーバー内外美容®に基づく腸活習慣に関するメディアセミナー「ハッピー腸活ライフ」を令和4年10月に開催しました。腸内環境を良好に保つための様々な情報発信と共に、「オリゴワン®飲料」及び令和4年9月に新発売した機能性表示食品「ハーバー ハトムギ茶」のPRを行い、様々なメディアで取り上げられる等、認知拡大に向けた取り組みを実施しました。また、令和5年5月にハーバー研究所は創立40周年を迎えます。更なるロイヤルティ向上、LTV（顧客生涯価値）の最大化を目指して準備を進めております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、8,735,268千円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

品目別売上上の基礎化粧品は5,881,310千円（同10.2%減）、メイクアップ化粧品は650,050千円（同8.9%減）、トイレタリーは465,084千円（同9.4%増）、栄養補助食品・雑貨等は1,694,700千円（同0.6%減）となりました。

販売ルート別売上では、通信販売（EC含む）が5,108,323千円（同3.1%減）、百貨店向卸売は667,808千円（同17.8%減）、その他卸売2,557,014千円（同18.3%減）、直営店401,986千円（同17.7%増）となりました。

売上原価は、2,747,144千円（同10.4%減）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が2,507,918千円（同3.9%減）、その他経費が4,248,133千円（同3.2%減）、合計で6,756,051千円（同3.5%減）となりました。

これらの結果、営業損失は767,927千円（前年同四半期は営業損失505,010千円）、経常損失は742,740千円（前年同四半期は経常損失480,865千円）、法人税等調整額△16,623千円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は810,744千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失529,325千円）となりました。

品目別売上

(単位：千円)

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
化粧品	基礎化粧品	6,547,880	68.5	5,881,310	67.3	△666,569	△10.2
	メイクアップ化粧品	713,552	7.5	650,050	7.5	△63,502	△8.9
	トイレットリー	425,104	4.4	465,084	5.3	39,980	9.4
	その他(注)1	166,170	1.7	43,986	0.5	△122,184	△73.5
	小計	7,852,708	82.1	7,040,432	80.6	△812,275	△10.3
栄養補助食品・雑貨等		1,705,746	17.9	1,694,700	19.4	△11,045	△0.6
化粧品・栄養補助食品等 小計		9,558,454	100.0	8,735,133	100.0	△823,321	△8.6
その他(注)2		5	0.0	135	0.0	129	—
合計		9,558,459	100.0	8,735,268	100.0	△823,191	△8.6

(注) 1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。  
2. カルチャーセンター等の売上が主なものです。

販売ルート別売上

(単位：千円)

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
販売 ルート	通信販売(EC含む)	5,274,179	55.1	5,108,323	58.5	△165,855	△3.1
	百貨店向卸売	812,402	8.5	667,808	7.6	△144,593	△17.8
	その他卸売	3,130,353	32.8	2,557,014	29.3	△573,338	△18.3
	直営店	341,520	3.6	401,986	4.6	60,466	17.7
	合計	9,558,454	100.0	8,735,133	100.0	△823,321	△8.6

(注) 上記の合計表は、「品目別売上」の「化粧品・栄養補助食品等 小計」売上に対して記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して339,573千円減少し、9,732,344千円となりました。これは主に、商品及び製品が増加したものの現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して340,997千円減少し、5,272,520千円となりました。これは主に、有形固定資産及びソフトウェアが減価償却により減少したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比較して518,938千円増加し、3,050,698千円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの未払金、契約負債が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して240,717千円減少し、1,275,288千円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して958,791千円減少し、10,678,877千円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、令和4年5月11日に公表しました令和5年3月期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,651,289	5,075,600
売掛金	1,146,837	1,085,845
商品及び製品	1,284,378	1,390,067
仕掛品	28,542	45,676
原材料及び貯蔵品	1,838,397	1,921,711
その他	143,451	232,322
貸倒引当金	△20,979	△18,880
流動資産合計	10,071,917	9,732,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,018,559	5,033,488
減価償却累計額	△2,527,508	△2,647,973
建物及び構築物 (純額)	2,491,051	2,385,514
機械装置及び運搬具	1,991,947	1,931,223
減価償却累計額	△1,594,598	△1,627,845
機械装置及び運搬具 (純額)	397,348	303,377
工具、器具及び備品	1,222,773	1,234,825
減価償却累計額	△1,028,938	△1,069,785
工具、器具及び備品 (純額)	193,834	165,040
土地	1,573,134	1,573,134
建設仮勘定	—	6,086
有形固定資産合計	4,655,369	4,433,153
無形固定資産		
ソフトウェア	320,081	236,300
その他	26,102	16,512
無形固定資産合計	346,183	252,813
投資その他の資産		
投資有価証券	6,452	7,326
繰延税金資産	234,846	251,203
差入保証金	333,168	294,347
その他	37,497	33,676
投資その他の資産合計	611,964	586,553
固定資産合計	5,613,517	5,272,520
資産合計	15,685,434	15,004,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	336,159	418,822
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	785,040	819,652
未払金	668,715	1,010,915
未払法人税等	31,234	108,134
未払消費税等	92,112	19,457
契約負債	204,422	329,643
その他	114,075	144,072
流動負債合計	2,531,759	3,050,698
固定負債		
長期借入金	1,472,843	1,223,758
その他	43,163	51,530
固定負債合計	1,516,006	1,275,288
負債合計	4,047,766	4,325,987
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	11,257,819	10,295,814
自己株式	△1,135,943	△1,135,943
株主資本合計	11,630,896	10,668,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	2,068
為替換算調整勘定	5,310	7,917
その他の包括利益累計額合計	6,772	9,985
純資産合計	11,637,668	10,678,877
負債純資産合計	15,685,434	15,004,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	9,558,459	8,735,268
売上原価	3,064,962	2,747,144
売上総利益	6,493,497	5,988,123
販売費及び一般管理費	6,998,507	6,756,051
営業損失(△)	△505,010	△767,927
営業外収益		
受取利息	36	39
受取配当金	176	207
受取賃貸料	621	621
助成金収入	※1 25,415	※1 25,985
還付加算金	1,915	128
その他	2,642	3,836
営業外収益合計	30,807	30,817
営業外費用		
支払利息	5,587	4,532
その他	1,075	1,098
営業外費用合計	6,662	5,630
経常損失(△)	△480,865	△742,740
特別利益		
固定資産売却益	1,973	9,458
助成金収入	※1 90,443	※1 21,060
特別利益合計	92,417	30,519
特別損失		
固定資産売却損	12	—
固定資産除却損	53,659	1,455
臨時休業による損失	※2 28,626	—
特別損失合計	82,298	1,455
税金等調整前四半期純損失(△)	△470,746	△713,676
法人税、住民税及び事業税	33,356	113,691
法人税等調整額	25,222	△16,623
法人税等合計	58,579	97,067
四半期純損失(△)	△529,325	△810,744
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△529,325	△810,744



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純損失(△)	△529,325	△810,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	606
為替換算調整勘定	1,735	2,606
その他の包括利益合計	1,892	3,213
四半期包括利益	△527,433	△807,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△527,433	△807,531
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症（第8波）により、感染者が一時急拡大しました。アフターコロナを見据え、穏やかに回復するとの仮定を置き会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響は新たな変異株の感染拡大等依然として不確実性が高く、経済環境等への影響により当社の事業環境に変化が生じた場合には、将来において損失が発生する場合があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

営業外収益に計上されている助成金収入は小諸市工場等立地促進助成金等であり、特別利益に計上されている助成金収入は雇用調整助成金（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例）等であります。

※2 臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、地方自治体からの各種要請等により、百貨店、ショッピングセンター等の臨時休業が行われております。これに伴う店舗の臨時休業期間中に発生した固定費（人件費、減価償却費等）を特別損失として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自令和3年4月1日 至令和3年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自令和4年4月1日 至令和4年12月31日）

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。